

北海道・東北地区 合同会議開催



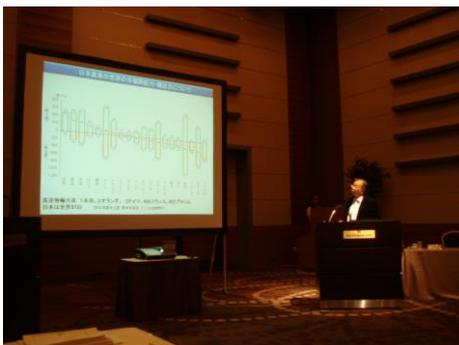
平成26年10月16日(木)、ホテルメトロポリタン仙台において、北海道地区会(代表幹事：大谷勇、(株)HBA 代表取締役会長)と東北地区会(代表幹事：早坂栄二、東北インフォメーション・システムズ(株) 取締役社長)の合同会議が開催された。参加者は29名。

早坂代表幹事の開会挨拶に続き、来賓の東北経済産業局 地域経済部 情報・製造産業課 柏芳郎課長が、挨拶の後、東北地域の経済状況や、東北7県が一体となった「地域資源の新たな魅力発掘と発信」「ものづくり産業の戦略的育成」「復興からの新産業創出」をテーマとする成長戦略の取り組みなどについて話をされた。

議事に入り、はじめに経済産業省 商務情報政策局情報処理振興課 高浜広和係長から、27年度概算要求、「攻めのIT投資」について、組織における内部不正対策のポイントなど経済産業省の情報政策について説明があった。

次にJISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI調査)、生産性向上設備投資促進税制、内閣官房IT総合戦略室に提出した「パーソナルデータの利活用に関する制度改正大綱」に対する意見、国際会議関係、JISA設立30周年記念行事など最近のJISA活動状況に関する報告の他、地区会構成の見直しについて説明があった。

最後に、東原北海道地区会代表幹事代理から好況を持続している同地区の情勢について、また早坂東北地区代表幹事から東北のIT業界の状況と北海道・東北地区会統合に向けて整理が必要な点などについて報告があった。



休憩を挟んで、宮城大学 大泉一貫特任教授による講演『農業の成長産業化に向けて』が行われた。生産調整による価格支持という日本の農業の常識が、輸出推進という世界の常識と異なった点が農業の衰退につながったことや、成熟国型農業の特徴を参考にして日本の農業を成長農業に変えるにはどうすべきかなどについて講話された。

(赤尾)